日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（DC会館）
電話（鉄電）千葉2935・2939番
（公）043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2001.3.2 No.5276.

3万8千円の賃上げ、貨物生活改善一時金を

新賃金要求提出！ 直ちに闘争体制を！

2月27日、動労総連合はJR東日本及び貨物会社に対し二〇〇一年度新賃金要求を提出した。

要求金額は三八〇〇〇千円の賃金引き上げである。またこれと別に、JR貨物に対しては昨年のベアゼロ回答や、この間の徹底した賃金抑制攻撃のなかで組合員の生活条件が極めて悪化している現状にふまえ、年度内に「生活改善一時金」を支払うことを求めた。

要求実現に向けて直ちに闘争体制をつくろう。シニア制度や業務の全面的な外注化攻撃、第二の分割・民営化攻撃が襲いかかる状況のなかで、われわれは今春闘を重大な決意をもって闘いぬく。全支部でストライキ体制を築こう！

【春闘要求の骨子】

(1) 三八〇〇〇円の大幅賃上げ獲得―JR貨物の超低額回答打破！

(2) JR貨物における「生活改善一時金三〇万円（55歳以上は四〇万円の獲得！

(3) 定年延長と65歳まで働ける労働条件の確立、55歳以上の賃金引下制度の廃止！

(4) 第二基本給制度の廃止！

(5) 差別なき基準昇進制度の確立！

日経連の春闘解体攻撃と対決し、闘う春闘を再生しよう。開始された第二の分割・民営化攻撃をはね返そう。シニア制度による高齢者の雇用破壊、検修・構内業務の全面的な外注化を許すな。二〇〇一年春闘に起ちあがろう！

事務分科第七回総会開催

三代川新会長を選出

事務分科会第七回定期総会は、二月十日正午からDC会館和室において十名の参加で開催されました。事務分科会は、九六年三月に総会を開催して以来五年間ぶりの総会となりました。この間ベテランの事務係の退職などもあり、会員の顔ぶれもかわりましたが、三代川新会長を選出し、新たなスタートをきる場としてかちとられました。

総会は、木更津支部多田君を議長に選出して進められ、はじめに会長あいさつとして三代川副会長から、「五年ぶりの開催となりましたが、会員の顔触れもずいぶんかわりました。今日を再出発の場として、これから事務分科の活動をしていきたいと思いますので、皆さんの御協力をお願いします。」とあいさつされた。

つづいて来賓あいさつとして中野委員長から、「事務分科会は小なりといえども、分科として存在感をもって活動してほしい。一年に何回かは相談するため集まってもらいたい。JR会社法改正案が出され、シニア・外注化など第二の分割・民営化攻撃が始まろうとしている。一方で組織・強化拡大のチャンスがきている。銚子で一名加入し、組織拡大が始まっている。分科会として活動の強化をお願いしたい。」とあいさつを受けた。つづいて清水会長が、経過報告・運動方針案・予算案を提案したのち、質疑討論に移った。

質疑討論ののち、三代川新会長をはじめとする新役員体制を選出し、事務分科会の再出発を確認した。

出された意見

◉事務係の仕事は、月単位、半年ごと、年一回の仕事があるが、要員補充があってもその時間がなく教えることができない。管理者も教えることができない。教育の場やマニュアルもなく、発令すればすぐ一人前の仕事をやらせられる。

◉事務として育てても、他の区所へもっていかれてしまう。指導すべき立場の者が、指導できない。人数あわせでしかない。三ヵ月位で何回かに分けて教育する機会ができないか。

◉二～三ヵ月に一回は役員会を開催し、分科会としての活動を。

新たに選出された役員

役職	氏名	支部
会長	三代川 学	津田沼
副会長	渡辺 寿夫	幕張
事務長	伊藤 滋	館山
常任委員	石塚 吉造	幕張
〃	中台 政幸	千葉機
会計監査	戸田 隆雄	幕張
〃	和田 有司	木更津